

県共闘

神奈川県共闘ニュース

発行 神奈川県労働組合共闘会議

住所 〒231-0028

横浜市中区鶴町1-5-14新見ビル4階

電話・FAX 045-319-4391

Twitter :@kanagawaroudou

2023年 1月12日

第29号

労働者の命と権利を守る闘いを!

年末年始の第49次寿越冬闘争に参加の皆様、大変お疲れ様でした。行く年来る年、2022年も多くの課題を残しながらもあつという間に過ぎてしまった感がしています。ロシアのウクライナ侵攻は未だ終結せず、多くの兵士や市民が犠牲になり、安倍元首相銃撃事件は自民党と統一教会の癒着を暴き出しています。また、岸田内閣では大臣4人が不祥事で次々と辞任しました。

そして昨年末は、戦争や円安のために自然エネルギーや農産物の価格が暴騰し、23春闘は格差是正の大幅賃上げを実現しなければ、労働者の生活苦はより深刻な状態を招きます。岸田首相がいくら「賃上げだ。賃上げだ」と言っても最低賃金以外の賃金は、労使対等の交渉で決まります。今では、非正規労働者が大幅に増

えたとはいつつも、組合組織率は、労働者全体の17%を切る状態で組織率を上げ組合が強くならなければなりません。

コロナ禍は、3年以上続き、12月には第8波が襲ってきました。インフルエンザと重なれば病床が足りなくなる予測もあるが、経済活動を止めない規制なしのwithコロナ施策が当分の間続きそうです。原発事故の汚染水海洋排水に次いで福島被災地にうず高く積み重ねたフレコンバックの中にある汚染土を再利用するという話もあります。また、国は武器の爆買いのように「戦争をしない国」から「戦争をできる国」に大きく転換しようとしています。この戦争への流れを止めなければなりません。

岸田政権は、解散・総選挙がなければ3年間続きます。それ故今年4月の統一

自治体選挙が重要になってきます。

課題はたくさんありますが、命と権利を守る要求や政策を訴え、実現するべく共に闘いましょう。今年もよろしくお願いたします。

(議長 川端勇次)



23春闘勝利・JAL 新たな闘いを確認

第32回定期大会開催 (報告・宮澤)

12月3日、神奈川県労働組合共闘会議は第32回定期大会を行った。

次年度の方針案の中ではウクライナへのロシア軍事侵攻などを原因とした世界的物価高騰の中、今年の春闘賃上げ相場は不十分なものに止まり、政府財界が主導する「官製春闘」が毎年の相場を規定しているという状況への危機感が示された。また、「台湾有事」を口実とする防衛費の大幅増(増税)や自衛隊の「先制攻撃」容認など、かつてないほど戦争への危険が高まっているなか、横須賀や座間などの在日米軍基地を抱える神奈川において平和への取り組みが重要であること、またピースサイクルをはじめとする反核、脱原発への取り組みを継続する意義について提起があり、承認された。また、アスベスト被害者救済のための裁判闘争について提起があり県共闘として支援に係ることが確認された。大会来賓としてJAL解雇争議を闘うJHUの仲間からも連帯の挨拶があり、地域の労働運動として今後も共に闘っていくことが確認された。



(川端議長の挨拶)

神奈川県共闘2023年度役員一覧表

役職	氏名	所属組合
議長	川端 勇次	全国一般労働組合全国協議会神奈川
副議長(会計)	吉良 寛	横浜市民権労働組合経務財政支部
事務局長	小内 秀高	学校事務職員労働組合神奈川
事務局長次長	沢口 和善	全国一般労働組合全国協議会神奈川
幹事	吉良 寛	横浜市民権労働組合経務財政支部
同	神保 俊	横浜市民権労働組合泉支部
同	宮澤 哲	学校事務職員労働組合神奈川
同	穂波 重直	全造船関連協労働組合分會
同	山崎 順一	日本板硝子共闘労働組合川崎支部
同	清水真樹子	全国一般労働組合全国協議会神奈川
同	清水 理恵	超党派労働者ユニオン神奈川
同	近藤 昇	寿日雇労働者組合
同	藤井 勇悟	新都市交通労組
同	佐久間吉典	神奈川ワーカーズユニオン
会計監事	佐藤 修作	超党派労働者ユニオン神奈川
事務局員	小根 隆昭	全国一般労働組合全国協議会神奈川
同	横澤 仁志	全国一般労働組合全国協議会神奈川
同	加藤 隆	横浜市民権労働組合泉支部OB

年頭のごあいさつ



学校事務職員労働組合神奈川 かくろう神奈川 宮澤

かくろう神奈川は昨年、新たな執行体制を確立し、また、県域において支部を復活させた。2022賃金闘争では空前の物価高に対応する賃上げを、という目標を掲げ取り組みを進めたものの、県、市教委当局は国や各人事委員会勧告の内容を踏襲し、賃上げ幅は僅かなものとなった。特にボーナスがプラス改定されるにもかかわらず、大半の自治体で会計年度任用職員のみが対象外とされたことは不合理な差別と言うほかなく、引き続き今年度の課題として格差是正に取り組んでいきたい。

全造船関東地協労組追浜浦賀分会 追浜浦賀分会青木

2023年一昨年来のコロナ禍に加え、インフルエンザのダブルパンチになる様相です。分会は、基本的に組合員のみでの旗開きを2月に開催予定で、団結いちご狩りは中止です。2023年の丸山委員長の再雇用継続が決定したので、23春闘勝利、大幅賃上げを目指し、軍拡増税反対、ウクライナ戦争即時停戦、物価値上げ反対を合い言葉に闘いを進めていきます。

寿日雇労働者組 近藤 昇

越冬闘争を引き継ぎ、生き抜くための闘いの新たな一年を!

私たち寿に結集する者たちは、今冬も引き続き命を守り一人の死者も出さない越冬に取り組んでいます。この冬は厳しい寒さが予想され、高齢者や病気がちの人も多い路上生活を強いられている人たちにとって命の危機につながりかねない状況です。私たちは日常の活動においても夜間パトロールや炊き出しなどの活動に重点的に取り組んでいます。県内や全国から多くの支援を受け第49次の寿越冬闘争が実現すること、その力を戦闘的友誼として打ち固め新しい一年への出発としていきたいと思えます。渋谷や大阪などこの厳冬期に路上生活者の命を奪うかのように公園などを閉鎖した地方行政に怒りを燃やし、ここ横浜でも関内北口再開発によって同様な事態が生じないよう監視と万が一の場合の行動を視野にこの一年も様々な課題に共に取り組みましょう。

横浜市従業員組合総務財政支部 吉良 寛 (県共闘幹事)

横浜市従総務財政支部のこの春の取組みの柱は、①新年度に向けた増員要求・予算要求・職場要求を実現する、②コロナ対策を徹底したうえで組合員交流、職場懇談会に活発に取り組む、③4月の定期人事異動と新採用職員配属を見据えた組織拡大準備、の3つです。世界と日本の政治、経済が大きな転換点を迎えてつあるいま、憲法改悪を許さず、人民主権の社会を実現する潮流の一翼を担います。

神奈川労働相談センター

横澤 仁志

センターは、電話、メール、面談での労働相談を行っています。件数はひとりに比べ少なくなっていますが、不安定な世相が反映して、また増えてくるんじゃないかという予感があります。ここ2、3年の相談件数で一番多いのはパワハラです。世の中の最も基本的な構成要素である職場が、いかにイジメに満ちたものかが分かります。話をお聞きするだけで「聞いてくれてありがとう。胸がスウッとしました。」と言う人もいます。多くの人が行き場のない不安や言いたいことを胸に秘めて生きています。私たち神奈川労働相談センターは、この一年間もそういった人々との付き合いをしていきたいと考えます。

郵政産業労働者ユニオン神奈川支部 桐ヶ谷幸央

昨年はコロナや、ロシアとウクライナの問題など、色々と慌ただしい2022年でした。私たちの生活も、その影響により、精神的にも、経済的にも、不安定であるにも関わらず、人員削減で労働強化、物価上昇しているのに賃金は上がらないどころか賞与(ボーナス)もままならないような情勢となっています。「こんな世の中だから仕事があるだけ良い」、「会社が無くなってしまふよりは給料下がっても仕方ない」そんな声が大分多くなってきている気がします。しかし、私たちは労働し、賃金を得て生活をしなければならぬのは、どんな情勢下でも変わりません。少しでも声を出し、少しでも職場環境を向上させ、少しでも多くの賃金を得られる闘いができる一年にしていきたいと思えます。

神奈川ワーカーズユニオン

昨年から続く物価高騰は未だ収まらず、私たちの生活は益々苦しくなる一方です。無政策の中、多くの勤労国民が貧困層に追いやられています。一方、自公政権は安保3文書の改訂を閣議決定し、防衛費GDPの2%や敵基地攻撃能力の保有などを明記しました。軍備増強ではなく、敵をつくらぬ平和外交を進めるべきです。23春闘勝利(物価上昇を上回る額)に向け、かつ、安保政策の大転換を阻止するため、共に闘いぬきましょう。

日本板硝子共闘労働組合川崎支部

新年明けましておめでとうございます。

昨年はロシアのウクライナ侵攻による原燃料の高騰を始め、各分野での値上げが相次ぎ、企業や個人経営者、さらには家計へ大きな打撃を与えました。

私たち労働組合は、この窮地を打開する為今春闘では値上げ幅を上回る賃上げを獲得する必要があります。

昨春闘より難しい交渉が予想されますが、粘り強く団結して頑張ります!

全国一般労働組合全国協議会神奈川

私たち全国一般神奈川は、地域合同労組として企業内組合の枠を超え様々な職場の課題に連帯して取り組み、組合員の課題解決や地位の向上のため、団交、県労委、裁判など全力で闘っています。また、春闘行動、メーデー、最賃の取り組み、労働法改悪、JAL解雇撤回の闘い、寿越冬闘争などの闘いに参加し、県共闘の仲間と連帯してきました。新年に入ってもコロナ感染の拡大が報道されていますが、感染対策を行いながら、2023春闘をはじめ、命と生活そして権利を守る多くの闘いに、県共闘の仲間と共に取り組んでいきます。共に闘いましょう。